

田ノ浦海岸環境整備事業

道と緑と海のステージ



田ノ浦海岸 環境整備事業の背景

近年、田ノ浦海岸では海浜の浸食が著しく、
台風や季節風による高潮のため、
別大国道や田ノ浦地区に大きな被害を及ぼしております。
さらに、交通量の増加に伴い、交通事故が発生するなど、
地域の環境が悪化してまいりました。
そこで平成2年度から海岸環境整備事業に着手し、平成4年
度からは国土交通省と大分県・大分市による道路・海岸・公園
を一体とした海岸環境整備をおこない、これらの解消を図り
ました。





展望

海へ向かって、豊かさに向けて

田ノ浦地区合併事業について

豊かな海に似合う、魅力ある道と公園づくり。

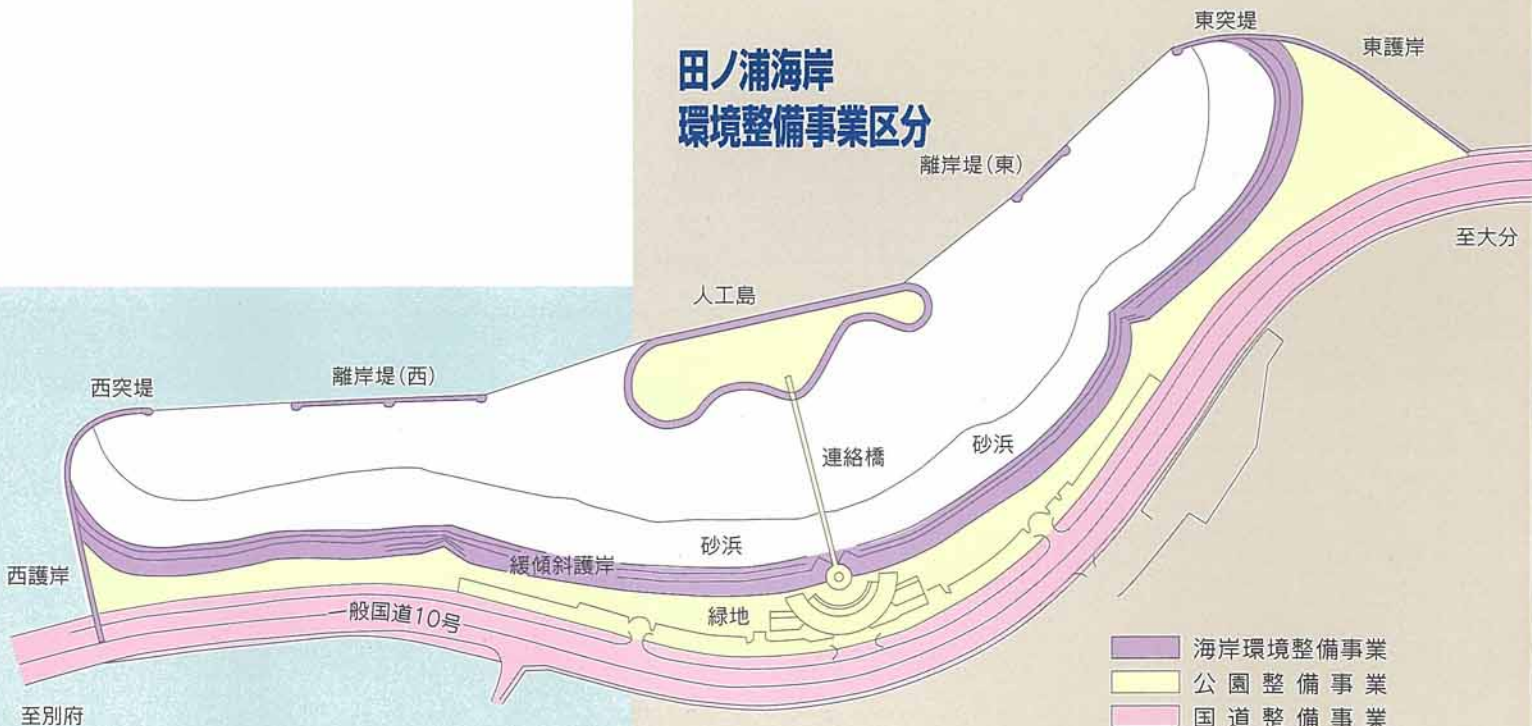
田ノ浦海岸は、昭和30年代まで、大分と別府両市民の海水浴・磯遊びの場として親しまれていました。その後、海流の変化や侵食により以前のような魅力あるシーサイドのイメージがなくなってしまいました。しかし、近隣には、高崎山自然動物園や生態水族館・マリンパレスなどがあり、新しいウォーターフロントの拠点としての可能性を秘めている地域です。



そこで、この田ノ浦地区の道路整備と活性化を図ろうと、国土交通省では、別大国道の拡幅と交差点改良工事に取り組むことになりました。大分県では海岸環境整備事業、大分市では公園事業に取り組み、そこで三者が「合併事業」として田ノ浦海岸の整備事業が始まりました。この事業は、平成15年度の完成を目指し、着々と進んでいます。平成5年度から、全国で初めて認められた多目的沖合制御施設整備事業（バリア事業）として、沖合にミニ人工島の建設がおこなわれました。

この事業は、“自然と人との共生の場、四季の海岸づくり”をテーマに、自然あふれる田ノ浦地区にふさわしく、生態系や景観に配慮した海岸づくりを目指しています。公園整備の完成後は、海岸一帯が、浜辺と緑のコントラストが美しい、自然ゆたかな海洋性レクリエーション基地となります。

田ノ浦海岸 環境整備事業区分



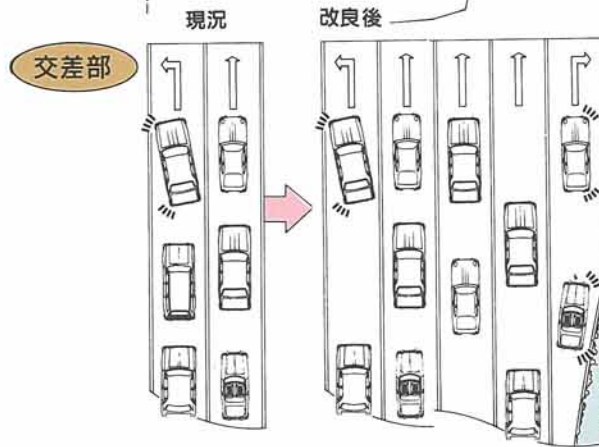
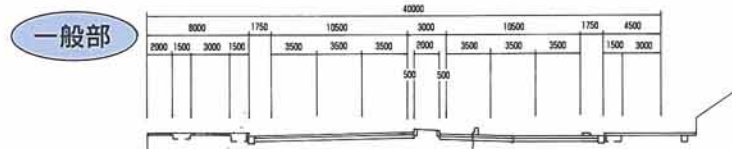
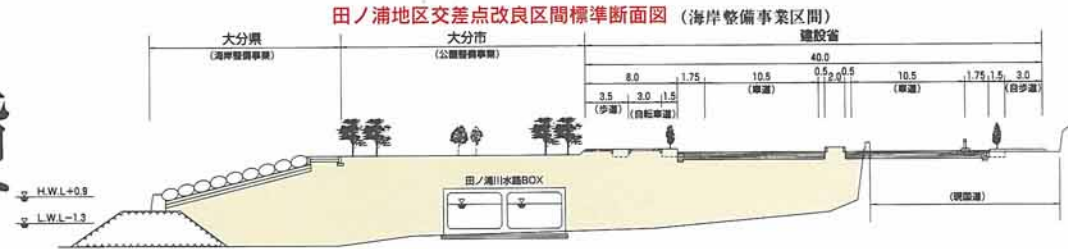


道路

快適さを目指すゆとりのベイロード

快適なあしたへ…4車線から6車線へ拡幅。

国道10号は、東九州を縦断する唯一の幹線道路で、別大国道では九州で屈指の交通量となり、事故も多発しています。交通量に合せ別大国道を海側に6車線に拡幅します。当面交差点改良を行い、田ノ浦地区や海岸（公園）にもスムーズに進入できるように、安全でより快適な、ゆとりあるベイロードづくりを進めています。



田ノ浦地区は、別大国道のなかでも渋滞がひどい地域です。交差点での交通事故も多く、危険な区域となっていました。そこで、従来の直進レーンに加えて右左折レーンを設け、横断歩道を設置し、道路の安全性を高めます。





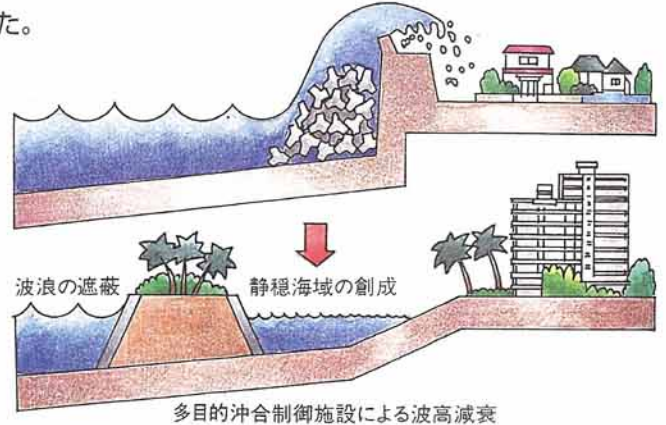
海岸

やさしさに触れる、安全な海のパーク

海岸環境整備事業

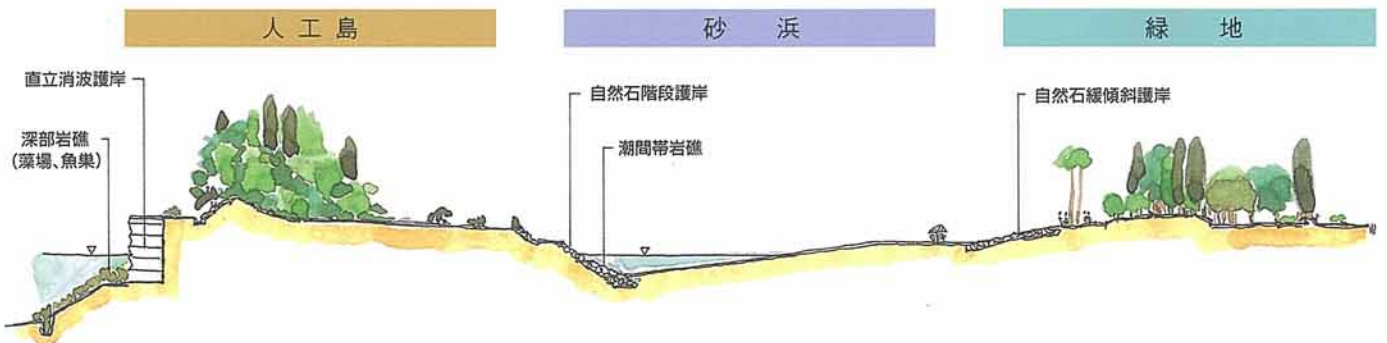
田ノ浦海岸は、大分市の近郊に残された唯一の自然海浜です。しかし、近年では、かつてのような賑わいは陰をひそめました。そこで地域の人に親しまれ、活気ある海岸づくりを目指し、平成2年度より海岸環境整備事業を進め、平成11年度に竣工しました。

護岸は、自然石を乱積みにした緩やかな傾斜面にし、海浜生物の生息に配慮します。沖合いに造られるミニ人工島と岸边をつなぐ60メートルの橋も、周りの景観に溶け込む自然な仕上がりとなっています。水面と浜辺、自然石による岩礁や傾斜面など、生態系を意識したスケールの大きい、変化に富んだ美しい海岸となりました。



人工島の役割

高波の被害を食い止めるために計画されたのが、沖合いにミニ人工島を造ることです。島をつくることにより波浪を遮断し、海浜と間の海域は穏やかな内海となります。台風災害も起らず、存分にリゾートを楽しめる絶好のベイスайдとなっております。



自然と溶け合う、人と緑と海のオアシス

公園

大分市民にとって、初の海浜と一体になった公園。

大分市内で唯一の海浜を生かした総合公園として海水浴場を中心に、緑あふれる公園となります。また年間を通じて利用できる施設を備えるとともに、クリーンな自然エネルギーの活用(太陽光発電システム)、バリアフリーを基本とした市民の憩いと安らぎの場を提供します。

シャワー・ロッカー室や駐車場など、さまざまな施設を完備。

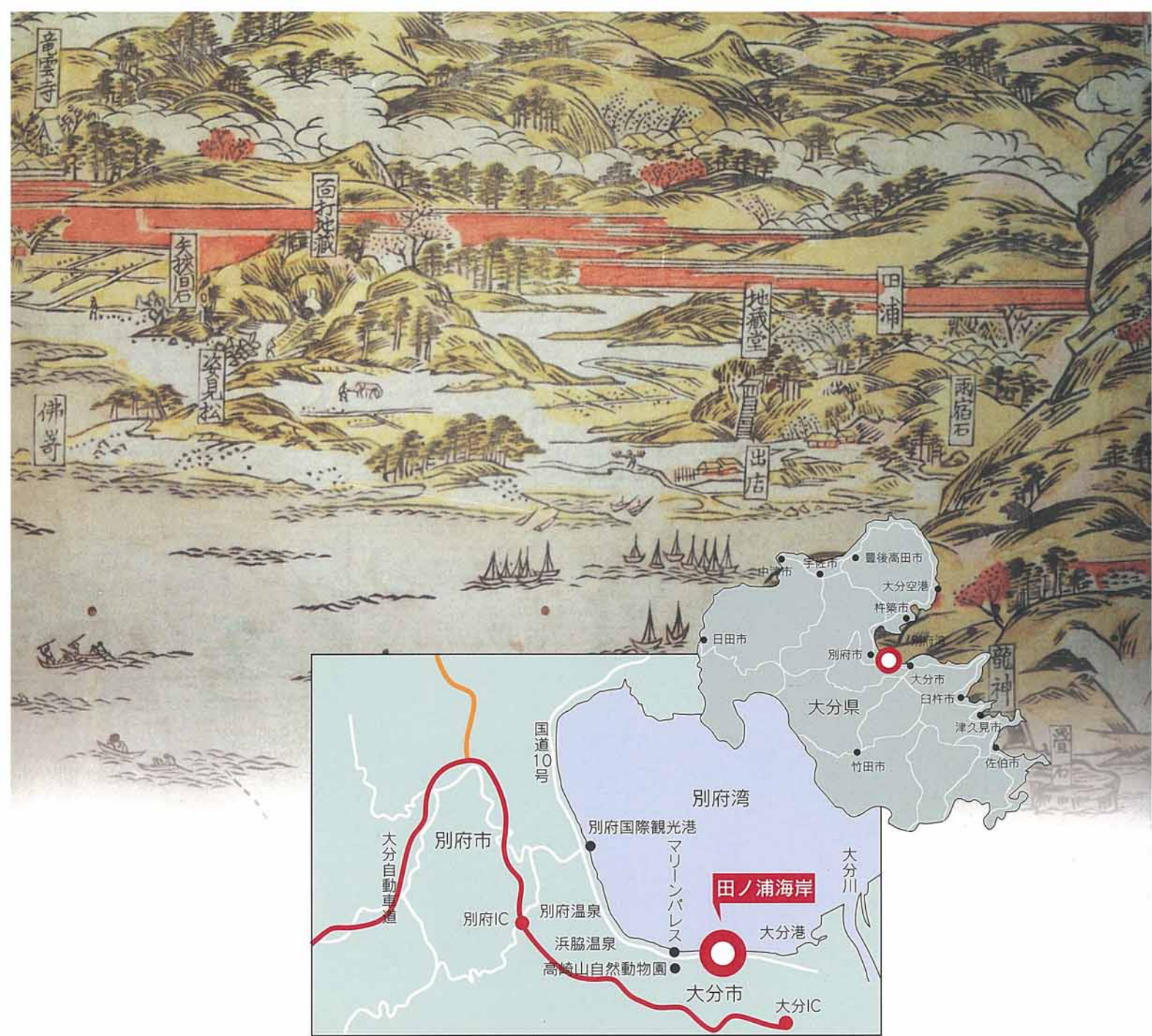
公園内には200台程度の車が駐車可能なパーキングを始め、国道を挟んで山手側にも800台程度が駐車可能なパーキングを整備しております。レストハウスには休憩ラウンジを始め、シャワー室、コインロッカー、更衣室、トイレなどを完備しており、周辺のウッドデッキや砂浜と一体的な利用が出来る多様な施設となっております。



自然環境を創造する自然石の護岸。

岸边には、さまざまな自然石で造られた堤防護岸とミニ人工島までつづくプロムナードが配され、散歩が楽しめます。さらに、適所に木陰を設けているため、座って海を眺めるにも最適な環境となります。海からつづくなめらかな砂浜を包む岸边は、他では味わえない心地よさに満ちています。





■ 海岸環境整備事業

〔海岸環境整備事業〕

事業主体：大分県

計画内容：緩傾斜護岸1,120m

離岸堤 2基(210m)

突堤 3基(537m)

養浜 290千㎡

利便施設 1式

施工年度：平成2年度～平成11年度

〔多目的沖合制御施設整備事業〕

事業主体：大分県、大分市

計画内容：延長 250m 面積 約1.4ha

護岸延長 590m 埋土 約70千㎡

施工年度：平成5年度～平成11年度

■ 公園整備事業

事業主体：大分市

計画内容：計画面積 約20ha

施工年度：平成6年度～平成15年度(予定)

■ 国道整備事業

事業主体：国土交通省

計画内容：田ノ浦地区道路整備事業 約1,900m

施工年度：平成4年度～平成10年度

